

# 保健所での健康危機管理 ～リスクアセスメントを基礎から学ぶ～

尾島 俊之(浜松医科大学 健康社会医学講座 教授)

## 1. 健康危機管理

健康危機とは「国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある疾病のまん延その他の公衆衛生上重大な危害が生じ、又は生じるおそれがある緊急の事態」(地域保健法 令和 4 年 12 月改正)。

具体的には、災害・健康危機として、気象災害(風水害等)、地質災害(地震、津波、火山等)、生物学系災害(感染症等)、交通災害(航空機・船舶・列車等)、産業災害(原子力事故等)、紛争災害、その他(火災等)、また、原因不明健康危機、環境汚染等。

## 2. リスクアセスメント

リスクアセスメントは、リスク特定、リスク分析、リスク評価を行う。リスクアセスメントが行われる課題としては、自然災害、感染症、化学物質の自律的な管理、労働災害、環境汚染、気候変動、食品安全、医薬品安全、慢性疾患(NCD)、テクノロジーなど。

ハザードとリスクは違う。リスクは、人がいることで災害が起こる可能性がある。リスクへの対応としては、回避、移転、低減、保有。

リスクマネジメント(プロセス)、リスクガバナンス(仕組み)、リスクアナリシス(リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション)。

リスクとは、日用用語:危険性や危険度、より厳密な定義:被害の影響の大きさと被害が発生する可能性(確率)の組み合わせ、ISO 31000 の定義:目的に対する不確実性の影響、疫学では:累積罹患率。

重要なことの根本は分野が違って概ね共通。しかし分野によって、よく使う言葉や言葉の意味が違う。自分はどの意味で使っているかを説明しながら使う必要。

## 3. 厚労科研の紹介

厚生労働行政推進調査事業(厚労科研)「保健所における健康危機管理対応の推進等に関する研究」を実施。地域健康危機管理ガイドラインの推進:別途報告。保健所及び地域の人的資源の育成・連携(「健康危機管理に資する人材育成の手引き」を作製):人材育成の手段として、研修、訓練、OJT、実働等があり、それぞれ特徴と留意点がある。保健所における新型コロナウイルス感染症対応の検証:保健所のパンデミック対策システムとして、地域戦略立案機能、疫学調査分析機能、リスクコミュニケーション機能、保健医療福祉支援機能を果たしていく必要。海外における地域健康危機管理:米国公衆衛生認証制度で、健康危機管理を始めとした記載事項が示されている。

## 4. まとめ

基礎を学びつつ、臨機応変に現実への対応を。いろいろな分野・国内外の考え方や言葉遣いも学びつつ。